

# 社会学特講 授業計画

太郎丸 博\*

2009年4月10日

## 1 コースの目標

官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文が読めるようになることをが、この授業の目的である。前半は基礎的な計算法やテクニックについて講義し、後半はそういった手法を使った文献を講読していく。

## 2 オフィス・アワー

水、木、金の 12:00～13:00 は研究室にいるようにする。時間がかかるかもしれない相談はあらかじめアポを取ること。

## 3 参考書と補助教材

### 3.1 教科書

盛山和夫, 2005, 『社会調査法入門』有斐閣、の pp.157-176。その他適宜プリントを配布する。プリントを配るので、保管して授業の時は持参すること。教材の残部は翌週までは保存するが、それ以降は廃棄することがあるので注意。

### 3.2 参考書

1. 谷岡一郎『「社会調査」のウソ：リサーチ・リテラシーのすすめ』, 文春新書
2. 谷岡 一郎『データはウソをつく 科学的な社会調査の方法』(ちくまプリマー新書)

3. ダレル・ハフ『統計でウソをつく法 数式を使わない統計学入門』(ブルーバックス 120)
4. 上田 尚一『統計グラフのウラ・オモテ』(ブルーバックス)
5. 太郎丸博, 2005, 『人文社会科学のためのカテゴリカルデータ解析入門』ナカニシヤ出版
6. ハンス・ザイゼル(佐藤郁哉訳), 2005, 『数字で語る：社会統計学入門』新曜社

## 4 評価

試験 80%, 宿題 10%, 出席 10%

実質的受講人数によって、配点や評価法を変更することもあり。

### 4.1 宿題と試験

毎回簡単な宿題を提出してもらう。また、7月に試験を行う。

## 5 授業の進め方

各回の予定は、表1を参照。各回の授業は基本的には以下のような流れで進める予定。

1. 前回の宿題を1～2人程度に報告してもらい、それについて質問や講評を行う。
2. 講義。

---

\* 連絡先: tarohmaru.h@hs2.ecs.kyoto-u.ac.jp,  
L510 客員助教授室, 075-753-2446

表1 各回の予定

---

4/15	イントロ、度数分布表、グラフの作成
4/22	代表値の計算
4/29	昭和の日(休校)
5/06	振り替え休日
5/13	休講 (RC28, Beijing)
5/20	クロス表の作成
5/27	因果関係と相関関係
6/03	多重クロス表と疑似相関
6/10	質的データの読み方・まとめ方
6/17	文献講読
6/24	"
7/01	"
7/08	"
7/15	"
7/22	前期試験
7/29	"
8/05	集中講義
8/12	夏休み

---

## 6 受講に必要な知識・スキル

1. 日本語。
2. 四則演算と平方根の知識。